

第20号

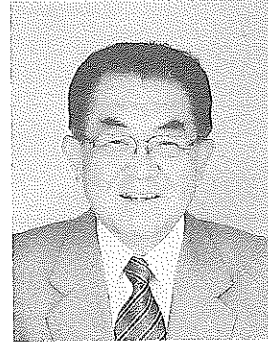
発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林4-31-9
ボライト第2ビル2F
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 安田 憲 吾
編集 情報誌編集委員会
編集委員長 鈴木 誠

せたがや 町総連だより

安全で安心なまち「世田谷」を目指して

世田谷区長 熊本 哲之



新年明けましておめでと
うございます。皆様には、
新しい年をお健やかに迎え
ることとお慶び申し上げます。
日頃より、円滑な区
政運営に向け、ご理解ご協
力をいただき、この場をお
借りして厚く御礼を申し上
げます。

世田谷区では、将来の世
田谷区の発展を願い、平成
17年度から向こう10年間に
区が重点的に取り組む施策
の方向性を明らかにし、区
政運営の根幹となる、新た
な基本計画の策定に着手し
ております。この基本計画
では、「安全で安心なまち」
「魅力的で活力あふれるま

ち」「健康でやすらぎのあ
るまち」「世田谷の文化を
育み、未来が輝くまち」
「区民が創るまち」の5項
目を目指すべき将来目標と
しております。併せて、具
体的な事業を進めるための
民間の経営手法を参考にし
ながら、成果を重視した行
政経営の計画「実施計画」
も取りまとめているところ
です。

幅広く区民の皆様のご意
見を伺うために、区議会で
の議論はもとより、シンポ
ジウムや区報特集号も活用
させていただきました。賜
りました貴重なご意見、ご
提言は、できる限り活かし
てまいりたいと考えており
ますので、ご理解ご協力の
程宜しくお願い申し上げま
す。また、皆様方の身近で
関連が深い出張所の改革に
つきましても、多くの方々

から、寄せられました数々
のご意見・ご要望をしっか
りと踏まえ、これからの時
代にふさわしい「新たな出
張所」としてスタートさせ
たいと考えております。

昨年10月23日に起きた新
潟県中越地震は、被害の甚
大さから改めて地震の怖さ
を思い知らされました。区
でも救済物資の搬送、職員
の派遣や義援金の募集など
できる限りの救援活動をし
てきました。しかしながら、
未だに仮設住宅など避難生
活を強いられている方々が
おり、早期の復興を期待す
るものです。また、昨年は、
度重なる豪雨や台風の影響
により、日本全国で多大な
被害を被り、世田谷区でも
床上浸水などの被害が出ま
した。

災害時、身近な地域の人
たちの助け合いが被害の拡

目次

安全で安心なまち「世田谷」を目指して	1
年頭にあたって	2
地域情報	
玉川地域 大井町線(九品仏～上野毛間) 街づくり連絡協議会 発足される	3
砧地域 祖師谷地区安全・安心のまちづくりに 関する陳情の活動報告	5
烏山地域 地域交流に根付いた「自由広場」	6
世田谷地域 太子堂地区連合7町会を語る	7
北沢地域 「地域・いきいき支えあい」 松原地区ぐるみ支えあう会の活動	8
新会長の抱負や活動	
世田谷地域 新町会長の抱負	9

北沢地域 「まちづくり」路線に望むこと	10
玉川地域 就任のご挨拶	10
砧地域 町会長雑感	11
烏山地域 団地のコミュニケーションについて	11
行政情報	
安全マップをホームページで立ち上げました	12
災害時区民行動マニュアルマップ版を 「全戸配布」します!	12
「全戸配布」します!	12
ごみ・資源の処理原価について	12
町総連ニュース	13
17年4月から出張所が変わります	14
編集後記	14

大を抑制するとともに、精神的な支えにもなります。災害は時と場所を選びません。常日頃から、区民一人ひとりが防災意識を持ち、地域での防災訓練などを通して、災害に備えておくことが重要であります。区も災害に強いまちづくりには、道路等の基盤整備が急務との考えから、スピードアップを図っているところです。区民の皆様には、日頃から地域の人たちのコミュニケーションを活性化して、地域の安全確保に努めていただきたいと思います。

また、区長就任以来、区民の財産と生命を守ることが基本に、「みんなであつくり犯罪のないまち」をスローガンとして、24時間安全パトロールや地域の防犯リーダー養成を目的に「安全安心まちづくりカレッジ」を開講するなど、状況に応じた対策に取り組み、犯罪の未然防止に力を注いできております。

組みや区民の方々による防犯パトロール活動などにより、犯罪発生総数は減少しつつある反面、ひったくりや振り込め詐欺などが増えている現状です。「継続は力なり」ではありませんが、犯罪はすぐには決してなくなりません。区・警察・区民が三位一体で取り組んでいくことが何より肝要です。引き続き、地域での協力体制を切にお願いいたします。

災害・パトロール以外では、各種募金活動や資源回収への協力、放置自転車対策、清掃・美化活動など町会・自治会の活動は、区政の全ての分野にわたってご理解とご協力を頂いております。世田谷区としましては、これらの活動に対しましては、引き続き支援をしております。誰もが世田谷区に住み続けたいと考えております。

けることに喜びを感じるよう、安全で安心なまち世田谷”を目指して、これからも力を尽くしてまいりますので、皆様方のご支援ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

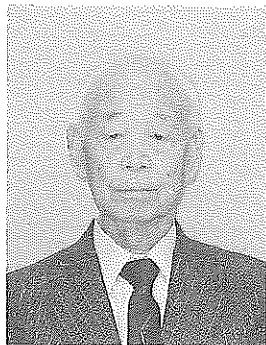
最後に、町会・自治会のもう一つの発展と皆様方のご健康、ご活躍をお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

また、直接区長と懇談する機会もあり、これまでの地域のまちづくりでの協力関係を維持していくことを強くお願いしてまいりました。

年頭にあたって

世田谷区町会総連合会 会長

安田 憲 吾



平素より町会総連合会の運営に対しまして、ご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

おります。防災・防犯活動をはじめ、環境美化、交通安全、青少年の健全育成、資源分別回収などの活動を通じて地域のまちづくりに務めております。

さて、私たちの長年の課題として、町会・自治会への加入促進があります。町会総連合会では、これまでポスター・チラシの配布や区民まつりでのPR活動、また、新しく集合住宅が出来たときに、町会・自治会長や役員自ら加入をお願いするなど、積極的な

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

連携と協調を図るとともに、地域の方々の福祉の増進のため、様々な活動を行って

昨年、町会・自治会と大きな協力関係にある出張所の改革につきまして、皆

お願いするなど、積極的な

取り組みをしておりますが、なかなか加入者のアップにつなげておりません。

昨年の新潟県中越地震では、多くの方々が被災され、年を越しての避難生活を送られている情景を見る度に胸が痛くなる想いです。

この地震がもし東京で起きたらと考えると、とても他人事ではなく町会総連合会として義援金50万円をお送りいたしました。少しでも、復興のお役に立てればと思っております。

また、昨年は、集中豪雨や台風が日本に多く上陸したことで、大きな災害が各地で起こりました。幸いにも世田谷区は、それほど大きな被害を被っておりませんが、ここ数年の気象状況や地震災害等を考えますと、いざと言う時の体制づくりが重要です。

こうした災害等に備えるためにも、地域の方々の協力関係が必要であり、町会・自治会の果たす役割は大きなものがあり、そのた

めにも町会・自治会への加入促進をしていただきたいものと考えております。

次に、子どもを取り巻く犯罪が多く報道されております。特に、児童虐待などは発見が遅れたことで大変な事態を引き起こしています。

青少年の健全育成には、これまで以上に近隣の大人たちが子どもたちを見守り合うことが重要な課題ではないでしょうか。

また、治安の悪化は深刻な問題となっており、現在、多くの町会・自治会で防犯パトロールが実施されておりますが、安全で安心して暮らせる地域ぐるみの活動が大事なことだと思っております。

昔は、世間には恥ずかしいことが出来ないと言う意識が家族や地域にありました。しかし、現在の社会は、連帯感や共助の精神が希薄になってきていることから、犯罪の多発や子どもへの虐待などを招いていることが考

えられます。

森に保水力があるように、社会にも犯罪を抑え込んで外に出さない力があります。確かに、木々や草花の環境が変われば、森の様相も変わります。だが、地域には、連帯感や共助の精神を維持した確固たる保水力のある町会・自治会をつくっていただきたいと思えます。

町会総連合会として、区民の皆さんが語り合い交流し、地域の様々な問題の解決に寄与してまいりたいと存じます。

引き続き町会・自治会の活動にご支援の程宜しくお願いいたします。最後に、会員各位の益々のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。

地域情報

玉川地域

大井町線(九品仏)上野毛間

街づくり連絡協議会 発足される

元大井町線急行乗り入れを考える会 事務局長 宮崎 巖

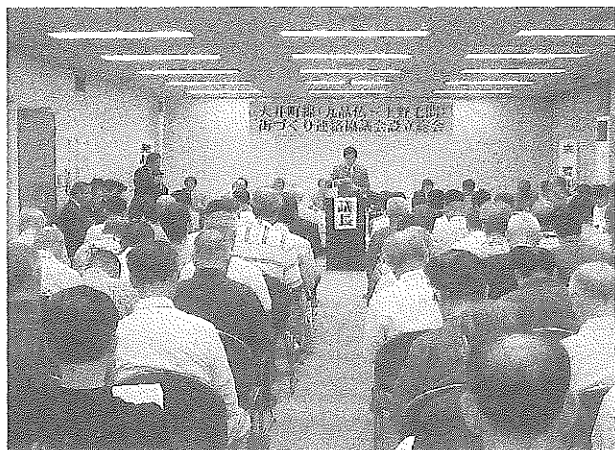
平成8年に東京急行電鉄より田園都市線の混雑緩和

の手段として、大井町線に急行乗り入れを行う計画概要の説明会が開催されま

した。これらの計画に伴い、急行の通過駅である、九品

仏・尾山台・等々力・上野毛各駅周辺の町会・商店街

の諸団体が集まり「東急大井町線急行乗り入れを考える会」が平成8年10月に設立され、様々な角度から急行乗り入れに関する事項を



考え、解散致しましたが、平成16年4月14日に再度開催致しました臨時幹事会において、多くの幹事並びに地元選出区議会議員の皆様から、新たな形で「街づくり連絡協議会」的なものを発足するよう提案がありました。

検討してきました。

我々として、これらの計画を安易に容認するものではないが、横浜・川崎の住民などの鉄道利用者が混雑に直面しているのも事実であり、アンケート調査、地域住民の集会を重ね、その結果、東京急行電鉄は、当初の計画を大幅に変更して「等々力駅地下化計画」を提案してきました。

平成14年12月に「東急大井町線急行乗り入れを考える会」は責務を終了したと

れ議事の進行が行われませんでした。

趣旨説明、規約の承認、役員選出と全ての議事が満場一致で承認されました。

役員については、九品仏・尾山台・等々力・上野毛各駅に隣接する、町会・商店街の会長、副会長などが選出され、当協議会会長に奥沢中和会の会長である板谷英宣氏が推薦され就任致しました。

これら「東急大井町線急行乗り入れを考える会」の経緯を踏まえ、9月2日に熊本区長（平谷助役代理出席）宍戸議長を初め多くの地元選出区議会議員ご出席のもと「大井町線（九品仏〜上野毛間）」街づくり連絡協議会の設立総会が総勢100名を超える参加者のもと開催されました。

発起人を代表して尾山台商栄会の岡部理事長が挨拶し、その後、元大井町線急行乗り入れを考える会事務局の安藤氏が議長に推薦さ

発足趣意宣言文

「私たちは「東急大井町線急行乗り入れを考える会」の経緯を踏まえ、等々力溪谷や歴史ある玉川の文化を後世に継承し、今後は自由が丘から二子玉川間全ての踏切を無くして安全な街を構築し、さらに駅前広場や周辺施設の整備を進め、元

気のある商店街、緑豊かな住宅街、水と緑の調和のあった「住んでみたいと思える街づくり」を推進することを目的として協議会を発

足することを宣言いたします」

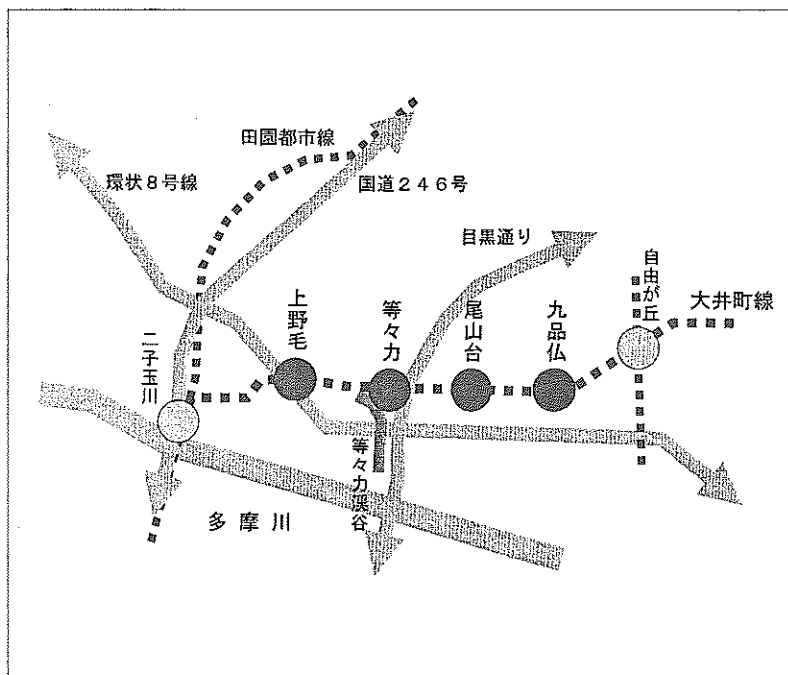
が声高々と読み上げられ、全ての議事を終了しました。

その後、板谷会長の就任の挨拶、来賓を代表して熊本区長の代理である平谷助役、宍戸議長、玉川交通安全協会会長の浅山優氏からご祝辞を頂き、閉会の辞を玉堤町会長の斉藤重男氏が

述べ、盛会裏に設立総会を終了しました。

今後は、この連絡協議会として広報誌「街づくり通信」や「ホームページ」(mytown-tamaver.com)

を通じて、広く一般住民に知らしめ、多くの地域住民に参加頂けるよう活動の輪を広げて行きたいと考えております。



砧 地域

祖師谷地区安全・安心のまちづくりに関する陳情の活動報告

祖師谷出張所地区町会自治会連合会 会長 神宮 寿夫

私たちが居住する祖師谷地区は、4年前、成城警察署が船橋地区に移転しており、それと時期を同じくして、侵入盗等の犯罪が増え、特に、平成12年12月には上祖師谷一家4人殺人事件が発生し、治安環境の悪化は隣接する住民にとって不安な日夜を送らざるを得ない状況になった。

そこで私たちは有志で地域内のパトロールを始め、防犯講習会や研修会を開き、防犯意識の向上と防犯活動を展開しはじめた。

かかる現況のなかで、安全で安心して生活できるまちづくりを目指すため、地区町会自治会連合会が中心

となり、傘下11の各種団体等呼びかけた結果、全員呼応し合計23団体が一致協力し、次の5項目の実現を目指し、警視庁に対する陳情の署名運動を開始したのは平成15年の11月である。

1 祖師谷駅前交番を元通りの駅正面に早急に移動し、警察官を常駐配備されたい。

2 祖師谷地区の中心に位置する「2丁目交番」に警察官を常駐配備されたい。

3 スーパー防犯灯(※注参照)を地区重点危険個所に設置していただきたい。

4 監視体制を強化するため、小田急・京王両電鉄の駅乗降口等にビデオカメラを整備されたい。

5 未解決の上祖師谷一家殺人事件の凶悪犯検挙により、一日も早く住民の不安を解消していただきたい。

署名運動の反響と関心は、大きく盛り上がり、回覧板をはじめ、会合などの機会をとらえ協力を要請した。

住民の期待を寄せる想いは、僅か1ヶ月余で、実に7、700名を超える署名を集めることができた。

暮れも押し迫った12月17日に、地区連合会、各種団体の代表7名は、成城警察

署長先導により警視庁へ陳情書を提出した。

申し入れに対し、警視庁の担当官から、5項目それぞれ重要な事項であり、可能な限り取り組み対処する旨の返答を受けたのである。

これと併行して、翌日、世田谷区へ、16年1月には小田急本社へ、代表5名が陳情書を提出し早期実現について申し入れた。

16年7月、陳情についての回答を聞くため、地区代表4名が成城警察署へ赴いた。

各項目についての回答は次のとおりである。

B 警官を補充し、駅交番の警官がパトロールで補充(既に実施)。

3 スーパー防犯灯は、早急の増設は難しいが重点課題とする。

4 ビデオカメラの設置は、京王線は16年2月全駅で完了。小田急線では、既に隣接駅で設置済み。祖師ヶ谷大蔵駅は8月5日から稼働の予定(既に実施)。

5 上祖師谷事件については、5月から捜査員を更

1 駅交番の移設については、17年度予算で改札口右側(高架下)に設置し整備する。警察官は、3人配置で24時間常駐体制(既に実施)。



2 2丁目交番は、既に4月から0

に増員して体制を強化した。祖師谷地区を陳情に基づき「防犯重点地区」として指定した(パトカーによるパトロールを実施中)。

回答の概要である。成城警察署は、7、700名の署名運動が大きな原動力となり、住民の切実な声が功を奏したと評価されたことを最後に付言して報告としたい。

※注 スーパー防犯灯 照明機能のみだけでなく、従来の街路灯に通報通話システムが付き、警察署と直結しモニターや録画機能も付いた設備。

烏山地域

地域交流に根付いた「自由広場」

上北沢地区町会自治会連合会 副会長 鈴木 誠

平成3年に実施された5総合支所制度に伴う新しい上北沢出張所は、旧砦支所管内にあった八幡山町会と本所管内の上北沢町会の管内が違う町会が一つの出張所で、団地等の自治会を加え、5町会・自治会としてスタートした訳であります。

隣りの町会とは言え、これまでは交流も皆無だったの、出張所の運営に際して、いろいろと地区町連としても試行錯誤を繰り返しま

した。この中で、地域の人たちの交流の場を築こうと言うことで、地区町連が中心となって「フリーマーケット」を立案し、5町会・自治会の人たちが楽しみながら交流できる企画を考えました。そこで、地区の各種団体に呼びかけ、話し合いを持ち、名称を「自由広場」と名付けました。また、「自由広場」の開催にあたり、各団体の役員さんが新しく

構成されていることから、出張所職員のご協力、実行委員会を立ち上げました。「自由広場」の開催に賛同していただいた活動団体を列記してみますと、まず上北沢地区町連、民生児童委員協議会、日赤奉仕団、身近なまちづくり協議会、青少年地区委員会、社会福祉協議会上北沢分会、上北沢生活学校、明るい選挙推進協議会が、また、高齢者の会として上北沢幸友会、

八幡山愛友会、青年部からは上北沢および八幡山青年会、そして八幡山及び上北沢町会の交通部、保護司会、その他にも行政施設からの参加と、多くの団体があるのには少なからず驚かされました。こうした各団体の代表者によって実行委員会が発足した訳であります。その後、「自由広場」の開催が回を重ねる度に内容も充実されてきました。



13回自由広場」は、晴天に恵まれ、盛会に開催することができました。このイベントは、上北沢地区の最大イベントとなり、「自由広場」で多くの人たちとの出合いができる地域交流の場としてすばらしい行事に成長してきました。

これからも、さらに地域住民の交流を深め、地域発展のためにも願っています。昨年の新潟中越地震では、多くの方々が被災されましたが、地域の方々が力を合せて、助け合い、励まし合って避難生活をしているのを見ますと、地域の交流の大切さを強く印象づけられました。

忘れた頃にやってくると言われている災害に備えて、これまで以上に地域の人たちが協力し合っていきたいものと思えます。

平成16年10月17日(日)「第

世田谷地域

太子堂地区連合7町会を語る

太子堂地区連合町会 会長 土橋 賀



国道246号線橋本駅

「太子堂4丁目西山町会」の地域には、初空に鮮やかな26階建ての茶色の高層ビル「キャロットタワー」が三軒茶屋の駅前にそびえ建っており、隣の「せたがや文化生活情報センター」

の諸施設もあり、演劇や諸文化が演出される特異な街区を形成しています。また、この街区の太子堂4丁目は、目青不動尊を祀る教学院があり、東急世田谷線の始発駅である三軒茶屋駅や西太子堂駅もあります。

町会長は萩原良昭氏であり、会員の先頭に立って活躍されております。

「太子堂三軒茶屋町会」の地域には、太子堂4丁目と2丁目にかけ茶沢通りで賑わう商店街と住居が混在し、世田谷区分庁舎や太子堂出張所などの行政機関もあります。分庁舎

には、「しゃれなあとホール」があり、隣接の三茶ふれあい広場では、常に催しがあります。また、この地域は大型店舗、金融機関が多くあり、区の中心的な役割を担っております。町会長は加納好昭氏で、商店街との連携や会の運営に役員と協力して行動しております。

「太子堂2丁目大塚町会」の地域は、終戦までは大塚町会と称して、現在の太子堂1丁目と同じ町会でありました。

古来「大古道」「玉川道」、現在は東京オリンピックを機に国道246号が開通され、上部は高速3号線、地下は田園都市線が走り、町会も二分されました。

この地域には、「太子堂郷学所」の歴史上教育の発祥地であることを示す看板が立っております。太子堂2丁目広場は、太子堂地区連合町会が広域避難所訓練を実施する際の集合場所となります。町会名は大塚古墳から命名したのでしょうか、町会長は土橋賀です。

「太子堂1丁目町会」の地域は、国道の南部の太子堂1丁目地区全部で、北部・西部の道路沿いは、商業建物が隣接し、広域避難場所である昭和女子大学があります。大学側のお力添えにより、連合町会の防災訓練会場として、昨年10月31日(日)に集合地から国道を歩行して渡る避難訓練で、国・警察・消防・区など多くの関係機関の協力で実施されました。

大学の隣には、昨年4月に新居中学校と池尻中学校が一緒になった三宿中学校が新たに開校し、両中学校の意のある知・優・翔の宿る区立中学校として、新しい道を開くことでしよう。

また、近くに太子堂区民センターもあり、地域の方々の集会所として適したところで、和気あいあいとして町会行事に利用しております。

町会長は山岸秀雄氏で、長年にわたって青少年地区委員会委員長として業績を残しましたことをお伝えいたします。

「太子堂下ノ谷町会」の地域は、太子堂2丁目の北部であり、烏山緑道の整備と共に快適な空間が形成されております。商住の歴史のある町で、公衆浴場の早期開所の「富士見湯」もあり、中央商店街や下ノ谷商店街が住宅街と調和して人情豊かな町並みを形成しております。

町会長は佐藤キイチ氏で、会員の皆様と心一つにして町会運営を行っております。「太子堂本町会」の地域は、烏山緑道の北部に位置し、太子堂3丁目と5丁目の一部にわたる広い地域と

なっており、太子堂の町名の呼称の地と言われております。地域内にある円泉寺境内に祀られている弘法大師が精魂をこめて彫ったとも言われる「聖徳太子」の像が祀られており、近くには太子堂中学校や名主役宅名主門もあります。

また、国立小児病院跡地の開発が行われ、A区、B区、C区、道路、公園等の基盤整備が行われます。

円泉寺東側の都営住宅の建替えでは、町会として世田谷区、太子堂2・3丁目地区まちづくり協議会関連の会と連携して土地基盤整備が環境的にも未来に繋がるものと思いたいと思います。

世田谷区も意を注ぎ、工区に防災空地を設け一時避難所とすることや、公園、道路、緑化等についても協議が整ってきております。

町会長は神田安則氏で諸

般の都市整備がある街で多忙の中、役員や会員と共に取り組んでおります。また、青少年地区委員会委員長として、委員の皆様と共に活躍しております。

「太子堂5丁目町会」の地域は、幹線の茶沢通りの西部地区、太子堂5丁目の大部分を占めております。

太子堂小学校の体育館や校庭を利用して、常に催しがあり、連合町会の防災訓練、ふれあい祭り、学校開放委員会、消防訓練、野球、サッカー等で地域の連携と交流がなされております。太子堂八幡宮は、町の心の拠り所として毎年盛大な祭りが行われております。

町会長は里吉阜月氏で、青年部も組織され、活発な活動が行われている町会です。

以上をもって7町会のご案内を終わります。

北沢地域

「地域・いきいき支えあい」

松原地区ぐるみ支えあひ会の活動

松原地区町会自治会連合会 会長 佐々木 和 代

事業の紹介

松原地区では、「地域・いきいき支えあい」を目的に、年をとっても安心して、元気に暮らせるまちづくりを目指して様々な事業を実施しています。

その一つが、松原地区ぐるみ支えあひ会（通称「ふれあい松原」）で、月8回松原地区の各町会・自治会の会館などで、お年寄りが気軽に集える場所として活動しています。

松原にお住まいの65歳以上の方にご参加いただき健康体操や、歌を歌ったり、ゲームをしたりして楽しんで、茶話会や会

食をして過ごしています。

設立の経緯

この会は、地区の住民がお互いに助け合い、支えあうことにより、高齢になっても介護

保険制度のお世話にならない健康で安心して暮らしていける「まち」とするために、町会・自治会・民生委員等が中心となり発足しました。平成9年の発足は、デイ・ホーム松原に通所している高齢者を対象に交流会

などの事業支援を行っていただきました。こうした活動を続けるうちに、痴呆や寝たきりにならないためには人と人との交流の場が重要であるという認識



をさらに深め、平成11年10月に現在のような「ふれあい松原」としての事業が実施されるようになりました。

平成12年からは世田谷区社会福祉協議会の「支えあいミニデイ」に登録し活動の充実を図りました。

事業の様子

「ふれあい松原」は、「高齢者の健康づくり教室」として月5回、仲間づくりとして「マーシャン教室」を月3回実施しています。

月5回の健康づくりは、4町会・自治会で月1回(松原2丁目は2回)午前10時から12時の2時間開催しています。

それぞれ3部構成で実施しており、1部では保健センターの運動指導員や地元のリハビリテーションによる体操、2部では各町会・自治会ごとに特色のある企画をみんなで楽し

んだ後、3部では茶話会や会食をして解散します。

各町会・自治会ごとの特色ある企画

地区には様々な特技を持った方が多く住んでおり、2部ではこうした方を招いて楽しい企画を実施しています。フアッ

ションショーやシャンソング歌手によるクリスマスコンサート、また三味線の師匠に参加いただき長唄を歌ったこともありました。最近では、フレンドバスを利用して深大寺を散策しました。警察署や消防署の方を招いてお年寄りが安心して生活できるように防犯・防火の話などをして注意を喚起することもあります。

ふれあい健康マーシャン

平成15年度から、もつと仲間を増やして共に楽しむ場を作ろうと、社会福祉協議会の「地域の支えあい活動助成金」を受

け月3回の「マーシャン教室」を開催しています。

マーシャンはゲームとして楽しいだけでなく、会話をしながら手先を動かすため、頭脳の活性化にもつながり健康にも大変良いといわれております。

「飲まない・吸わない・賭けない」の3ない

ルールで初心者もベテランも楽しんでいきます。

これからの活動
活動を始めて今年で5年目を迎えることが出来ました。この間には、まちぐるみ支えあう会は町会・自治会の皆様をはじめとする松原の人々の支援により支えられている

のなどと痛感しております。

今では、地区のお年寄りの集う場として大きな役割を果たしています。こうした場を大切にしてお年寄りに健康で安心して暮らしていけるよう今後も活動していきたいと考えております。

新会長の抱負や活動

世田谷地域 新町会長の抱負

桜丘1丁目町会 会長 大木重永

会長への「要請」に対し、定年退職という人生の節目を過ぎた後の生涯設計として、再び組織のリーダー

に加えて「生ごみの循環型社会」のモデル地区を創ることに挑戦することとしました。

重要なことであると考えた訳であります。また、東京農業大学方式のリサイクルシステムのモ

ダを持っていくか厳しい自問自答を必要としました。会長職を受けるに際して、町会・自治会の数ある事業

わが町には、一般家庭(生ごみの肥料化)と農家(その肥料の消費、野菜生産者)が存在し、生ごみのリサイクルの「組織化」が

ニターにも参加し、このシステムが生ごみリサイクルの抱えるごみ収集の簡素化や堆肥化のトラブルなど多くの問題の解決に画期的な

手法であることを確信しました。

特に、同大学の後藤逸男教授（生物応用科学科）の「生ごみのリサイクルは地域内リサイクル」を原則とする思想には大いに触発された訳であります。

このシステムにより肥料化された「みどりくん（生ごみ乾燥物＋尿素2%）」の肥料効果は、桜丘地域の篤農家の方々によっても実証され、「みどりくん」利用協議会の設立へと発展しています。

一方、このシステムの最大の課題が乾燥機（リサイクラ）が高額であること、つまり家庭にとって、ごみ処理コストとして容認できない価格が啓蒙運動のネックになっているのが残念です。

今後の技術開発への期待と飽くなき努力、問題意識を追求しつづける中で解決がある筈です。

北沢地域

「まぢづくり」路線に望むより

桜上水5丁目自治会 会長 三浦 澄 能

私は、平成16年に就任したばかりで、皆さんの理解と協力を得て努めております。

折しも、区政が、「まちづくり」を掲げて出張所改革や総合的な基本計画を打ち出しつつあります。「まちづくり」路線それ自体は自治体としても最も望むところであり、相互信頼と協力体制を心掛けねばなりません。

ただ、行政が「まちづくり支援」にどう対処しようとするのか、もう一つ私どもには具体的に見えないように思われます。

そのうえ、昨今は「まちづくり」に唱和して各関係部署からの文書類や行事案内など随分と増える傾向にあります。私どもの非力さもありませんが、こうした動向の中で自治会側がよほど

しっかりしないと消化不良を起こしかねない懸念も出ております。受ける側の立場から実態に即した見直し調整をお願いすることも必要かもしれません。

そもそも「まちづくり支援」とは、各町会・自治会の環境・条件など個別の実状に対応して、そこに潜む重要な諸問題や願望をいち早く取り上げて解決に導く

ことにあると考えます。従って、「支援機能」が

有効に働くためには、行政側からのコンタクトの手法として、時には自治会に同席して現場の問題や生の声をじっくりと聞いて頂きながら、「支援」の具体策を一緒に考えるという積極的な姿勢も大事なのではないでしょうか。

そういうお互いの努力の中から行財政の効率化や改革に繋がる芽も必ず育ってくるに違いないとさえ思っております。

玉川地域

就任のご挨拶

深友会 会長 三田 松 廣

私は、一昨年12月前会長三田隆真先生の退任の後を受けまして深友会会長職を務めさせて頂いております。

深友会は深沢の1・2丁目及び3・4丁目の一部の広範囲にわたります。

平成16年8月、2丁目1番に新興住宅郡が完成し総

戸数750戸という大きいです。8月に200戸の入居が始まりました。

駒沢公園の緑と広い空間を取り入れた最新式耐震設備のビル群が高く立ち並び町が一変しました。

深沢は、先代の人たちが自分の土地と自費で区画整

理を行い、小・中学校、呑川の桜の緑道、福祉施設、地区会館など整備された高級住宅地域です。

近年は、世田谷区・警察署・消防署・町会自治会あがて安全安心に力を入れ、

自らのまちや地域は自らが守り犯罪のないまちづくり

を目指しています。

私も、町会のために何が出来るかを考え50有余年の深友会を作り育てた先輩の方々の功績を汚さぬよう努力していきたいと思えます。

町会総連合会を始め各町会自治会長さんのご指導の程をお願いいたしまして私のご挨拶といたします。

砧地域

町会長雑感

大蔵東部町会 会長 石井洋一

私の住む大蔵東部町会は、昭和40年代の初めまでは畑の多い町でした。

それからアパート時代を経て、今はマンション時代に地域の環境が変化しました。それに伴い住民の顔ぶれも多様になり、町内の雰囲気も若くなってきたことを実感しています。

7月の親子納涼盆踊り、



烏山地域

団地のコミュニティセンター

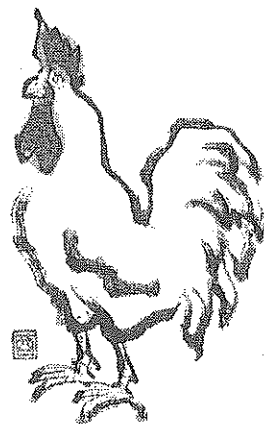
都営烏山アパート自治会 会長 和田 富也

私は、昨年四月に自治会長に選出され、早一年を経過しようとしています。私共の都営烏山アパートの敷地内には、松葉通り公園・足ツボ通り公園があり、健康のため自治会員の利用が多いところです。自治会では、公園の清掃を毎月一回

10月の横根稲荷禮大祭（氏子会と共催）等の行事に足を運んでくれる人々の中に、小さい子ども連れの家族を多く見かけるようになりました。

町会と称している如く、これまでは地元の長老を主として構成していましたが、ここ数年を境にしてメンバーが大きく動き、つい最

近まで？小・中学校へ一緒に通っていた仲間が、再び集まってきたような顔ぶれで、役員を構成しています。社会が激しく変動する中で、町民に伝達する情報の多さに戸惑い、町会役員になる事のためらいがちな若い人の多い現状など、池の中で小舟がひっくり返らぬよう櫓を漕いでいるところです。



合同で行っており、清掃日には自治会員相互のコミュニケーションの場にもなっております。

しかし近頃では、居住者の高齢化が進み、また、自治会行事に関心を持たない方など、年々合同清掃に参加する人たちが少なくなっ

てきております。世の中全体が、若者のみならず人間同士の関係が希薄になっており、団地でも、号や棟が違うだけで朝夕の挨拶どころか知らん顔も見られます。

お隣り同士で知り合う機会が少ないことから、昨年

は二件の孤独死がありました。周りが気付かず新聞配達員が新聞受けに新聞が貯まるので不思議に思い、警察に届けたところ死亡が確認されたというものでした。

また、最近団地の中でも振り込め詐欺の電話が入り、自治会の幹事会でも大きな議題の一つに取り上げられ対策に苦慮しているところ

です。昔から遠くの親戚より近くの他人という言葉がある

ように、向こう三軒両隣仲良く生活していたものです。近所同士の結びつきが強かったように感じます。日頃から住んでいる人たちが挨拶を交わすことや声を掛け合い互いに助け合うことが大切であるかと思えます。

昨今の公社住宅の傾向として入居される方が独身者で、高齢者が多くなっております。若い人も入居させて頂きたいものです。

行政情報

安全マップをホームページで立ち上げました

生活文化部 市民活動推進課

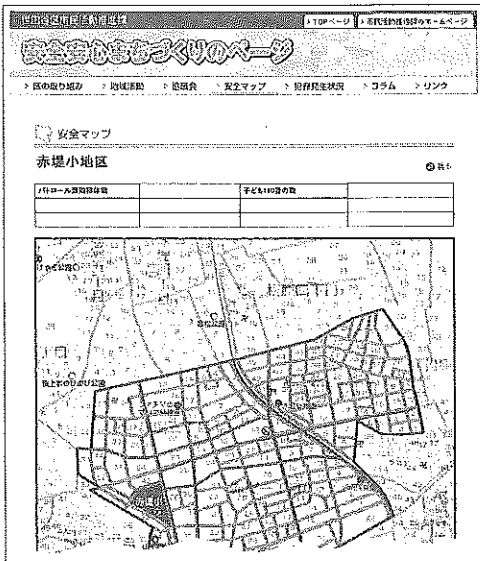
市民活動推進課のホームページ「安全安心まちづくりのページ」は、「24時間安全パトロール」「区民活動支援」などを中心に情報提供を行ってきました。平成16年12月15日から、区民の自主的な安全安心の取り組みに役立つ情報を提供するため、「安全マップ」を立ち上げました。

全マップを活用し、地域の安全に係る情報を白地図に書き込むこと等で、安全に対する意識の向上に役立てただければ幸いです。

安全マップのアドレスは以下のとおりです。
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/topics/shimin/anzen/safety-map/index.htm>

小学校区単位の地図イラスト上に、通学路や交番等、生活安全に係る情報を表示しています。

町会・自治会の皆様、自ら安



災害時区民行動マニュアルマップ版を「全戸配布」します！

危機管理室 危機・災害対策課

平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」から10年が経過しました。10月23日に発生した、新潟県中越地震の被災地では、現在も避難生活が続いております。関東大震災以降、世田谷区内では大地震は発生していませんが、同じような災害がいつ起きても不思議ではないと言われております。

区では、地震に備えて様々な対策を進めており、時区民行動マニュアルマップ版を配布します。

このマニュアルの中には、地域の避難場所・給水拠点等の位置・距離などが簡単に確認できる地図も掲載されています。通常の地図としても活用できますので日常的に利用していただければと思います。

今回の全世帯配布を機に一人でも多くの皆様ご家庭で、また地域で改めて防災について考えていただきいざ災害が発生した際に少しでも被害を軽減できればと考えています。

また区民の皆様と一緒に防災訓練等を通じて地域・事務所での災害への備えも進めてまいります。一人ひとりが災害への意識を持ち、備えを進めていくことが地域の防災力を向上させるために最も重要だと考えます。

区では皆様の防災に対する意識を高め備えを進めていただくために、1月中旬以降に区内の全世帯に災害時区民行動マニュアルマップ版を配布します。

ごみ・資源の処理原価について 清掃・リサイクル部

区では、ごみの発生・排出抑制のしくみづくりを積極的に進めています。

その中で、毎年、ごみや資源の収集運搬・処理にかかっている経費をお知らせし、ごみ減量やリサイクル意識の普及啓発に取り組んでいます。皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

■ ごみ、資源の処理原価 (14年度)

ごみ	可燃・不燃・粗大ごみ	約56円/kg	
資源	集積所で回収した資源	古紙	約20円/kg
		びん	約56円/kg
		缶	約128円/kg
	公共施設で回収した資源	紙バック・乾電池等	約136円/kg
コンビニ・スーパー等で回収した資源	ペットボトル	約178円/kg	

注) 処理原価＝
 (清掃・リサイクル事業経費－資源売払金等の収入)
 ÷ごみ・資源量 (事業系ごみ含む)

注) ごみ処理原価は、区の収集運搬原価に清掃一部事務組合、都の処理処分原価を加えたもので、14年度が最新のデータです。

町総連二コース

正副会長会・常任理事 会・理事会・総会

▼7月28日

1. 平成15年度事業報告
2. 平成15年度決算報告
3. 平成15年度会計監査報告
4. 平成16年度事業方針

(案)

正副会長会

▼8月31日

1. 平成16年度予算(案)
 6. 役員の改選について
- 以上が提案され原案どおり承認された。
- 続いて永年勤続者124名の表彰が区長をはじめ来賓多数臨席のもとで行われ、安田会長から各地域の代表者に感謝状が手渡された。

R活動を行った。

参加各町会・自治会関係者との情報交換の場となったばかりでなく、区民・関係官庁職員との交歓に資することができた。

常任理事会

▼10月22日

行政と役員との懇談会

▼11月18日

1. 役員研修会 宮本三郎記念美術館及び梅丘中学校の高齢者在宅サービスマスター・温水プール・給食施設等の視察研修
2. 新潟県中越地震見舞金の件
3. 新たな出張所の件
4. 平成17年度予算編成の件
5. 町会総連合会表彰規程の改正の件
6. 安全安心まちづくり情報交換会の件

▼12月7日

1. 平成17年度予算編成の件
2. 新年親睦交流会の件
3. 資源化施設の件

3. 東京都功労者表彰受賞者内定の件

編集方針の件

▼11月1日

町総連だより第20号の原稿確認の件

▼11月26日

町総連だより第20号の原稿校正の件

▼12月21日

町総連だより第20号の原稿校正の件

原稿校正の件

町会・自治会長

北沢地域 交替のお知らせ

代田北町会

新会長 細野 喜一
前会長 新妻 金一

清水建設砧アパート自治会
新会長 浜津律めぐみ
前会長 貫上 優子

砧地域

お悔やみ申し上げます

法人格成城自治会会長
井田 清 殿

平成十六年十二月三日没

平成17年度総会

平成17年度世田谷区町会総連合会総会は、平成17年6月30日(木)を予定しております。

第27回ふるさと区民まつり

▼7月31日～8月1日

ふるさと区民まつりに参加(出店)し、町会・自治会加入促進ポスターを掲示し加入チラシや防犯グッズの配布等広くP

▼9月27日

1. 国勢調査協力の件
2. 役員懇親会・役員研修会・新年親睦交流会の件

情報誌編集委員会

▼9月27日

町総連だより第20号の

▼11月1日

連絡会
1. 交通安全対策の件

17年4月から出張所が変わります

出張所の窓口変更に伴う主な取扱い業務一覧

○……取り扱います

×……取り扱いません

主な取扱い業務		出張所 (7か所) 太子堂、経堂、北沢、等々力、 用賀 (二子玉川分室含む)、 成城、烏山の各出張所	まちづくり出張所 (20か所) 池尻、若林、上町、下馬、上馬、 梅丘、代沢、新代田、松原、松 沢、奥沢、九品仏、上野毛、深 沢、祖師谷、船橋、喜多見、砧、 上北沢、上祖師谷の各出張所
国民健康保険証	再 交 付	○	○
国民健康保険高齢受給者証		○	○
介護保険保険証及び資格者証		○	○
老人保健受給者証		○	○
マル福医療証		○	○
妊娠届の受理及び母子健康手帳の交付		○	○
就学通知書の再発行		○	○
区内転入、区外転出、区内転居の届出		○	×
印鑑登録手続き		○	×
戸籍の謄抄本・戸籍証明・附票の写し交付		○	×
国民健康保険に関すること(証再交付・回収除く)		○	×
国民年金に関すること		○	×
介護保険に関すること(証再交付・回収除く)		○	×
畜犬登録に関すること		○	×
外国人登録原票記載事項証明書の交付		○	×
住民税、軽自動車税、国民健康保険料などの支払い		○	×
自 動 交 付 機	住民票の写し	○	○
	印鑑登録証明書	○	○
	特別区民税都民税納税証明書(今年度・昨年度)	○	○
	特別区民税都民税課税証明書(今年度)	○	○

※自動交付機設置場所…

2月から全ての「出張所(分室含)」、世田谷総合支所区民係、烏山総合支所区民係、4月から文化生活情報センター案内窓口、桜丘区民センターに設置します。(設置計画の詳細については各出張所、各総合支所区民課、地域窓口調整担当課、地域行政担当課にお問い合わせください)

編集後記

☆ 記録的な猛暑、集中豪雨、台風上陸10回の新記録、浅間山の噴火、新潟県中越地震、さらにインドネシア・スマトラ島沖巨大地震と津波の被害、昨年はまさしく天災の年でした。

☆ 熊本区長ならびに安田会長の新年挨拶もそうであるように各地域情報も「安全・安心まちづくり」から防災・防犯・環境問題を強調されていて、当然のことながら一番の関心事であることを物語っています。

☆ 今年も地域情報として、いろいろな活動をご紹介できるようにしたいものです。

☆ 本情報誌第19号にてご紹介の新しく各町会・自治会長に就任された方々を代表して新会長5名の方から会長就任の抱負について、ご投稿いただきました。各氏とも問題点を的確に捉えて、決意のほどを述べられています。今後のご活躍を大いに期待するものです。

☆ 通信情報の発達と多様化に伴ない本情報誌の果たす役割もますます重要になるものと思います。各町会・自治会から本編集委員会へ忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

編集委員 堀池 有